

Zoom を使うための TIPS

1 Zoom を用いた オンライン講義のコツと落とし穴

新潟大学医学部産科婦人科学教室 助教 磯部 真倫

1 は、まずは、「Zoom を用いたオンライン講義のコツと落とし穴」という題で進めていく。先に述べたように、COVID-19 パンデミックをうけて、2020年4月17日から合計8回にわたって Zoom を用いて行ったリアルタイムオンライン講義「Zoom を用いたオンライン講義のコツと落とし穴」で扱った内容をもとに文章を書き進めていく。あくまで初心者に向けて行った講義であり、もしある程度 Zoom に使い慣れている医師であれば次の「2 もう一歩進んだ Zoom を便利に扱うための TIPS」へと進んでいただきたい。ここでは以下に示したように4つのパートに分けた。すべて読んでも構わないし、一部分のみ読んでもよい。

- ☆. はじめに
 - ▶なぜ Zoom を使う必要があるのか？ その必要性について学ぶ。
- ☆. Zoom の使い方（基礎編）
 - ▶Zoom の使い方を、学習者側、教育者側（ホスト）として両側の目線で学ぶ。
- ☆. e-learning とオンライン講義について
 - ▶e-learning の基礎を学びつつ、リアルタイムオンライン講義のメリット、デメリットを学ぶ。
- ☆. リアルタイムオンライン講義のコツと落とし穴
 - ▶実際にオンラインで講義を行うコツと気を付けるべき注意点について学ぶ。

以上4つのパートについて丁寧に述べたい。先にも述べたが初心者でも対応できるように丁寧に、ゆっくり、言語化を意識した。寝転がりながら読むもよし、パソコンを準備して実際にパソコンをいじりながら読むもよし。Zoomの基礎を学んでもらいたい。

1 はじめに

1 ICTとは

「ICT」という言葉は最近よく耳にする言葉である。ICTとは“Information and Communication and Technology”の略である。その用語の意味は「通信技術を使って人とインターネット、人と人とが繋がる技術」をさす。チャット、FacebookなどのSNSなど、オンラインの状況でつながる技術を指すわけで誰もが一度は利用したことがあるだろう。パソコンのみならず、スマホ、タブレットの普及、そしてWi-Fi環境の整備により、誰もが、どこでもICTを利用し、その恩恵を受けるようになった。

似たような言葉として、「IT」という言葉がある。ITとは“Information Technology”の略であり、情報技術そのものを指す。コンピューター、ソフトウェア、アプリケーションなど技術そのものであり、我々はITの進化により恩恵を受け、そしてICTが普及するようになったわけである。

同様に似たような言葉として「IoT」という言葉がある。IoTとは“Internet of Things”の略であり、人を使わずモノが自動的にインターネットと繋がる技術を指す。スマート家電や、自動運転などを指す。今後、医療においてIoT化は進んでいくと思われる。

2 なぜICTを学ぶ必要があるのか？

COVID-19パンデミック後に一気に世の中にICTの普及が進んだと思われる。なぜ我々はICTを使いこなす必要があるのだろうか？

1. ソーシャルディスタンスを保ちながら仕事を行う

COVID-19 パンデミックにより、感染を予防するには3密をさける必要がある。新型コロナウイルスのクラスター発生を避けるには、ソーシャルディスタンスを保つしかない。まずは、仕事としてソーシャルディスタンスを保つことが重要である。大学の講義、会議、面談をICTを用いて行う必要がある。検討会をリモートで行う必要があるかもしれない。在宅でのワークになっていれば、ICTは必須となる。ソーシャルディスタンスを保ちながら仕事を行うにはICTは必須なのである。

2. ソーシャルディスタンスを保ちながら人と交流する

新型コロナウイルスパンデミックにより、対面式の講義、研究会、学会、ありとあらゆる集会が中止となった。ひとえにソーシャルディスタンスを保つためである。皆、自宅と職場の間しか移動しない人が多い。もしくは、在宅でのワークになっていれば自宅にしかいない可能性がある。COVID-19 パンデミックの時代とは人と人とのつながりが薄れる時代なのである。人と人とのつながりを保つにはこういったICT技術を使いこなすしかないのである。

3. COVID-19 パンデミックがいつ終わるかわからない

この原稿を書いている時期は、2020年5月である。日本におけるCOVID-19 パンデミックの新規感染者数は減少傾向である。しかし、世界を見れば収束傾向にあった地域も第2波のパンデミックが起きている。このウイルスの収束はいったいつなのであろうか？ ワクチンが開発され、臨床に導入されるのがいつなのであろうか？ もし、COVID-19 パンデミックが終息状況にあっても、これまでと異なった新しい生活様式を導入する必要がある。3密を避ける新しい生活様式を継続していく中でICTの導入は避けられない。

4. COVID-19 パンデミック終息後の世界

COVID-19 パンデミック終息後の世界はどのようになっていくのであろうか？ 誰もが予測できない。COVID-19 パンデミック終息後の世界は、終息前の世界と全く同じ世界なのであろうか？ 多くの人が口にする言葉は、「COVID-19 パンデミック終息後の世界は、もう元の世界には戻らない」である。緊急事態宣言の中、世の中が目まぐるしく変化する中で様々なことを経験してきた。その変化に対応していくことには様々な障壁があったがそれに我々は即座に乗

り越え、適応してきた。しかし、その変化への対応の中には、「なぜこのようなことをやらなければならないのだ」「理不尽だ」と途方に暮れることもあれば、「やってよかった」「これは素晴らしい」と思ったこともあるであろう。

コロナウイルスパンデミック以前に導入しようとしたが組織の抵抗にあい全く進まなかったことが、強制的に一気に進んだこともあるであろう。ICTの導入はまさしくその一例である。ICTの導入が一気に進んだが、最初は不慣れなこともあったと思われることも、使っていくうちにICTには対面式にはない多くのメリットがあることに気づいたのであろう。「ICTの導入による世の中の変化は、大なり小なりコロナ終息後の世界にも残り、活用されていく」これは私の意見である。

これらの理由からICTを学び、活用していくことは現時点で必要不可欠であり、今後も継続していくと思われる。

3 Zoom とは？

Zoom[®]とは、パソコンやスマホ、タブレットをオンライン状態で使って、講義、セミナーや会議を開催するために開発された同期型オンライン会議システムのアプリケーション（アプリ）である。対面式のセミナーや研究会では受講したい場合、そのセミナーや研究会に申し込むと主催者から、招待状や受講票が届き、場所や時間を告知される。受講者は、その時間に、その場所へ行けばセミナーを受講することができる。Zoomも、これと全く同じである。セミナーの主催者から招待 URL または、ミーティング ID とパスワードを受け取る。指定の時間に、その招待 URL をクリックするか、ミーティング ID とパスワードを入力するだけで、セミナーに参加できる。参加だけが簡便なのではない、ホストとしての使い方、スライド等の共有などZoomのメリットは使用の際の簡便性であることは間違いない。

医療関係者の中では何の同期型オンライン会議システムが最も使われているのであろうか？ 著者は集計したわけではないので実数は不明であるが、Zoomは、その使用方法の簡便さから、多くの医療、教育機関で導入が進んでいる印象であった。よって、本書では、同期型オンライン会議システムとして

Zoom を中心とした使い方、事例報告を行っていく。

2 Zoom の使い方 (基礎編)

Zoom をはじめとしたオンライン会議システムの必要性がわかったところで、実際の Zoom の使い方をここで示す。できれば誰かと模擬会議をしながら Zoom を実際に操作してみるとわかりやすいであろう。Zoom では、学習者側と教育者（ホスト）側では使い方が若干異なる。まずは学習者側として参加することも多いので学習者側の視点から学んでもらう。学習者側から参加するにはアカウント登録は不要であるのが Zoom の最大の特徴である。

1 学習者側の使い方

1. 参加の仕方

学習者側の Zoom 会議の参加の方法は極めて簡単である。まず、面倒なアカウント作成は不要である。学習者の参加のハードルの低さが、Zoom がオンライン会議システムとして広く使われる理由であろう。参加方法には、メールや SNS 等で届く招待状から行える2つの方法がある。① 招待状に記載されている URL をクリックする、② 招待状のミーティング ID とパスワードから入室する、である。②の場合、Zoom のホームページ上部にある「ミーティングに参加する」をクリックすると新しい参加ページが開き、「ミーティング ID」を入力することができる。入力し、「参加する」をクリックすると新しいページが現れる。ここからは、①、②とも同一である。開かれた新しいページの「Zoom ミーティングを開く」をクリックすると基本画面が開かれる。この際、Zoom がダウンロードされていない場合はダウンロードする必要がある [動画1](#)。



▶ 動画 1

2. 画面の基本

基本画面に行く前に待機室にいることがある。その際はホストから入室許可が出るまで待つ。入室できたら [図1](#) のような状態となる。基本的な操作は画

※以下、動画として筆者が2020年4月に開催した「Zoomの使い方講習会」での実際の操作画面を紹介する。動画中、一部画面・音声につき個人情報保護のため調整している。